

SWCCグループの価値創造プロセス

SWCCグループは蓄積してきた資本の強みを生かして、事業を通じて未来につなぐ価値を創出します。エネルギー、デバイス、コミュニケーションなど経済や社会活動を支える領域でSWCCグループが創り出した価値は、全てのステークホルダーと共有されます。こうした価値創造プロセスは、企業価値の最大化を目指して継続的に循環されます。



イントロダクション

トップメッセージ

価値創造ストーリーの実践

持続的経営の基盤

財務・経営情報

経営資本の充実に向けて

経営資本の強みと充実策

財務資本

強み 高い財務健全性と良好なROE、現場にまで浸透したROIC経営
課題 市況変動に強い財務体質の構築、さらなる収益力の強化、投資余力の確保

資本の充実策

中計ローリングプランに掲げる収益性、効率性、株主還元、安定性目標の達成

人的資本

強み 優秀な開発人材、徹底した健康経営
課題 従業員エンゲージメントのさらなる向上、優秀な人材の確保

資本の充実策

SWCCパーパスの浸透(経営と現場との対話の強化)、採用活動の積極化、教育・研修の充実

設備資本

強み 設備投資に対する積極姿勢(2025年度 設備投資計画:90億円)
課題 既存設備の老朽化、生産能力の増強、不稼働設備の合理化

資本の充実策

中計ローリングプランに掲げる設備投資計画の着実な進捗(2022~2026年度累計 360億円)

知的資本

強み 新製品・サービスの開発力、高付加価値ブランドの数々(SICOPLUS®(サイコプラス)、MIDIP®(ミディップ)など)
課題 技術の進化への対応、研究開発人材の不足

資本の充実策

研究開発人材の積極採用、研究開発投資の拡大

社会・関係資本

強み 既存顧客との強固な関係性(ブランド力)、強固なサプライチェーン、投資家との良好な関係
課題 新たな顧客の開拓、ステークホルダーとのコミュニケーション、積極的な情報発信(IRの充実)

資本の充実策

マーケティング活動の充実、ステークホルダーとの対話強化、IR活動の充実

自然資本

強み 充実した環境貢献製品の展開力、エネルギー資源の効率的活用
課題 環境負荷の低減、エネルギー資源の安定調達、気候変動・生物多様性確保への対応

資本の充実策

環境貢献型事業の拡大、リサイクルの促進、気候変動対応の積極化

経営資本の活用

		経営資本						具体的な活用方法
		財務	人的	設備	知的	社会・関係	自然	
中期経営計画	ROIC経営推進によるCF創出力の強化	●	●	●	—	—	—	ビジネスモデルの進化には、人的資本を集中させ、知恵を絞る必要があります。事業ポートフォリオマネジメントの強化には、生産設備の見直し・効率化と資金の投入が不可欠です。注力事業への投資強化やM&Aの活用には財務資本や人的資本を積極的に投入します。
	資本コストの最適化	●	—	●	—	●	—	最適な資本コストの実現に向けては、財務資本の適正な配分のほか、さまざまな設備を効率よく稼働させることが不可欠です。株主に対し、獲得した資金を適切に配分するためには、利益の創出により、資金を獲得する必要があります。
	無形資産への投資	●	●	—	●	●	—	研究開発力の強化に向けて、財務資本の適切かつ機動的な投入が必要です。また、未来に向けて成長性を確保するためには、人への投資が不可欠です。研究開発や人的資本の充実には、外部のパートナーとの連携も必要となります。
マテリアリティ	[技術] 未来を創る	●	●	●	●	●	—	飽くなき研究開発のために、人的資本と知的資本の積極的な投入は必須であり、そのためには資金の投入も不可欠です。研究開発には、外部の研究機関などとの連携が必要な場合もあります。
	[環境] 地球にやさしい	—	●	●	●	●	●	環境負荷の低減により、環境貢献をすることが最大の目的となります。そのためには、環境投資による再生可能エネルギーの確保や、多くの人材を投入して知恵を絞り、環境価値貢献製品を開発・実現することが必要です。
	[地域] ともに生きる	—	●	—	●	●	●	地域社会と良好な関係を維持するためには、マンパワーを投入し、地域の方々とのコミュニケーションに注力することが不可欠です。また、地域の自然環境を維持することも地域とともに生きるうえで必要です。
	[人] ひとが輝く	●	●	—	—	●	—	人が生産性を高め、モチベーションを維持・向上させていくには、まずは人権を尊重し、従業員間のコミュニケーションの円滑化に努め、働きやすい職場環境づくりに専念し、また従業員に対して適正な評価を行い、かつ、昇給などを通じて労働に報いることが重要です。
	[ガバナンス] より良き企業に	●	●	—	●	—	—	強固なガバナンス・システムを構築し、それを適切に運用していくためには、適切なマンパワーの投入と、取締役会などで英知を結集させて議論を深めることが不可欠です。取締役に対する報酬の適正化や、インセンティブの付与には、資金の投入も必要となります。

●:活用のために重要・鍵となる資本